



大阪歯科大学

# 兵庫県同窓会報

99年度

57

## も く じ

初、再診料の見直し……中塚会長……	1
第41回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会……	2
平成10年度定時総会……	4
学術講演会……	6
分会・支部だより……	7
クラス会だより……	12

## 『初、再診料の見直し』



大阪歯科大学  
兵庫県同窓会会長

中 塚 裕

診療報酬改定の太枠は、年末か、新春にはその姿がみえてくる。

これまでの改定では、医科・歯科格差の大きな開きで苦汁を飲んできた経緯があるだけに、日歯役員の今回の想い入れは相当なものがある。

過去の改定で日歯はその政治活動によって歯科の苦境を十分に理解させ、認識させているからと希望をもたせた説明であったが、いざ蓋をあけてみると現状と余り差異のない改定で涙を飲んできた苦い経験がある。

しかし今年からの日歯は少し変わってきたようだ。

医科・歯科格差の元凶を明らかにしながら、会員に訴える姿勢で、共に力を合わせ、団結してこの難局をのり切ってゆこうという強いリーダーシップが感じられる。

国の財政がまだまだ豊かであった昭和53年以前の7回の改定は、技術料中心である歯科が高率に対応されてきた。

しかし昭和56年の第二次臨調（臨時行政調査会）の勧告により、薬価差益による財源で改定がなされてきた為に薬剤の使用率の少ない歯科にはそれ相当の財源しか配分されなかった。

そして残念ながら以後11回の改定はすべて医科より低率で推移してきている。

日歯は今、連盟と共に新しい財源を求めて強力なロビー活動を展開しているが、都道府県の連盟にもそれに呼応して地元の自民党推薦議員に強い要望活動を推し進めている現状だ。

今後日歯は、初診、再診料の見直しや、適正な技術料の評価、金銀パラジウムの逆ザヤ解消、訪問歯科診療の評価などを求めながら、中央医療協議会での激しい攻防が続けられることであろう。

同窓会の先生方におかれては現状を十分に認識され、一旦ことある時はより一層のご支援、ご協力をお願いする次第です。

# 第41回 大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員大会



診療報酬に新風が期待できるのではとあいさつで述べる中塚会長

第41回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会及び新卒会員歓迎会が、平成11年8月7日（土）新神戸オリエンタルホテル真珠の間に450人の同窓会員が参加して開かれた。今回は当番分会として神戸分会が運営にあたった。大会には佐川寛典理事長・学長、同窓会の田治米保夫専務理事、近府県同窓会代表並びに県下の各歯科大学同窓・校友会代表ら多数の来賓の臨席をいただき、トークショーやアトラクションを楽しみ、和やかな中話も盛り上がり、同窓会の絆を深めた。

会員大会は、和田透兵庫県同窓会専務理事の司会で始まり、飯田浩司副会長の開会のことばのあと、中塚裕会長が大要つぎのようにあいさつした。

## 《あいさつ要旨》

今、私どもが当面する問題の1つに診療報酬の大きな心配事がある。従来通りの薬価を切り下げた改定になるのか、新しい財源を求めて改定になるのか、今までは薬価を切り下げ、その差額で財源を捻出していた。昭和56年から現在に至るまで11回の改正があったが、毎回、歯科の方が医科より改定率が下がっている。歯科は長年辛抱を重ねてすでに限界にきている状況に落ち込んでいる。日歯は、年初から医科と歯科の初診料の格差の問題、改定の新しい財源

を求め誠心誠意、政治活動等を続けている。

1週間前に自民党の池田政調会長と丹羽雄哉同代理、中原日歯会長、大島議員の4人が会談し、現在の歯科医療の特性を充分考慮しながら歯科の技術料の評価、あるいは改定を行うという3カ条の内容の合意書に署名捺印している。何か長いトンネルの中に入っていたのが、やっと一つの光明が見え、新しい風が吹く感じがする。これからの日歯執行部の動きに大いに期待している。また、大阪歯科大学から出仕している豊川、蒲生両常務の一層のご活躍を期待しており、兵庫県同窓会としても支援を申し上げたい。

本日のトークショーは俳優の花紀京氏である。花紀さんとは、酒を飲んだり、ゴルフをし

たことがあり大変礼儀正しい方であり、楽しみにしております。これから、会員大会を有意義にお楽しみ頂きますよう心から念じましてあいさつと致します。

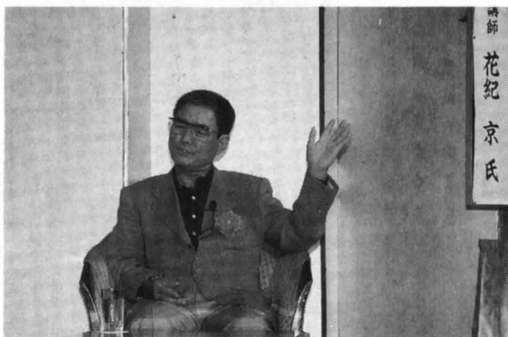
次に、吉田欣也常任理事が来賓の紹介を行った後、来賓祝辞となり、佐川寛典理事長・学長が「大学は今、歯科界のみならず全国的に教育改革ということで揺れ動いています。しかし大歯は、日ごろの同窓のご支援により、りっぱにモデル校として活動しています。私たちの教育理念はSPS・学生による学生のための大学としてやっと板についてきた。特に教育環境では先生方の物心両面の支援でりっぱな大学が楠葉にでき、将来の歯科医師として豊かな感性を持つ学生たちが育っている。日本はもとより国際的な有名な先生方が学会等でお越しになっておられますが、こんな立派な大学があるとは知らなかったと言われております。」と述べ、「私もかつて無給時代に神戸に住み兵庫県歯科医師会の会員であり鹿嶋先生にはたいへんお世話になった。震災で有名になった灘区の岩屋北町に住んでおまして、ちょっと見てまいりました。現在もまだ完全復興はされておませんが、神戸市全体で見ると今日では見違えるように甦ったことに感動を覚えます。そのバイタリティを、不況で難しい歯科界を、この神戸の地から活力を日本全国に与えて頂きたい」と。さらに、元学長の森政和氏の死去、天満橋学舎跡地に湧出した温泉（温泉ODUやすらぎの泉）を平成13年の大学創立90周年の行われる6月8日（金）には温泉施設としてオープンすることを披露した。続いて奥野喜一大阪歯科大学同窓会会長のメッセージを長谷川博久副会長が代読



華やかにブラジル・サンショウ

されたあと、平成13年開催の第14回全国会員大会を京都が当番で大学の創立90周年記念式典の行われる6月8日の翌9日（土）に京都都ホテルで開催するとして、参加を呼びかけた。

なお、県下各歯科大学同窓・校友会代表の祝辞は、本年度は大阪歯科大学が当番のため割愛された。次いで和田透専務理事から、大学47回の新卒業生18人のうち出席者9人の紹介があり、中塚会長から記念品の贈呈がおこなわれた後、新卒業生を代表して関本真由さんが代表して謝辞を述べた。次に、今大会の当番を担当した神戸分会の住谷幸雄分会長が「心の扉を開かれて十分楽しみ、最後までごゆっくりして下さい」とあいさつした。続いて、次期大会を担当する丹波、但馬両分会を代表して但馬分会の芦沢修分会長のあいさつのもと、一瀬健二常任理事から祝電披露があり、全員で学歌を今井章氏の指揮で斉唱したあと、谷茂樹副会長の閉会のことばで式典は終了した。



身振り手振りでお笑いについて語る花紀京氏

引き続き、俳優花紀京氏のトークショー「お笑いについて」（聞き手神戸分会実行副委員長）を聞いたあと、懇親会に移った。

このあと、奥田健大会実行副委員長の司会、岡田太郎実行副委員長の開宴のことば、田治米保夫同窓会（本部）専務理事の音頭で乾杯し懇談会に入った。「ブラジル・サンバ・ショウ」の華やかな踊りで宴も盛り上がり、土曜の夕べ和やかな歓談のひとつきを過ごし、井上泰介実行委員の閉宴のことばで第41回会員大会を終えた。

# 中塚会長の留任決まる

## 平成10年度定時総会

平成10年度大阪歯科大学兵庫県同窓会定時総会が、本年4月17日（土）午後4時から兵庫県歯科医師会館5階ホールで開催された。総会は会務、会計など諸報告のあとの議事では、中塚会長の留任が決められた他、平成11年度の収支予算などの議案が可決承認された。また、名簿作製委員会の設置も決まった。



あいさつで日歯及び兵歯代議員会報告を述べる中塚会長

会は、和田専務の司会で進み嘉ノ海副会長の開会の辞のあと三坂副会長が議長に選出された。

続いて、議事録署名人に大学12回の中川真、同16回の瀧北祐輔の両氏が選ばれた後、中塚会長が大要次のようなあいさつを行った。

### 《中塚会長あいさつ要旨》

今日の朝刊に現在、診療報酬体系の素案を作っている医療保険審議会の制度企画部会が昨日厚生大臣に意見書を提出している。それによれば、慢性疾患や高齢者の医療について包括

化、定額制にするのがベストだと言われているが、今後、細かい疾病内容については、中医協で審議をしなければならない。こういう手続きを踏むのではないかと思っている。

もう1つの記事は、国家試験合格者のことである。兵庫県では、27名のご子息、お嬢さんが合格された。心から祝意を表したい。

ここで3月27日、県歯の代議員会でのあいさつの中に重要事項があったので、本日それを引用したい。中原日歯会長は、3月に行われた日歯代議員会で政府の財源の配分には不公平があるので、これを是正したいと言われた。現在は

薬価の切り下げ、この差額を診療報酬の財源に充てているのだが、歯科は薬剤の使用率が少ないのでこれは不公平である。2月の末に企画部にすでに日歯は、技術料と物とを完全に分離した診療報酬体系を確立してほしいとの意見書を提出している。歯科の総枠の拡大について全力を挙げ取り組み、医科と歯科の格差の最たる初診料再診料の格差是正を目指したいと力強く述べられた。

医科は技術料は70%、モノ代が30%で薬剤がこの中21%で、歯科は91%が技術料、9%がモノ代で薬剤は1.28%の内容である。従って、昨年の1.5%の改正では、医科、歯科の格差が0.3%、その他、初診、再診料の格差が大きいため昭和56年から診療報酬改定の度に格差が広がっているのが現状である。これに対し、中原日歯会長はぜひとも来年の改定に向けて、歯科へ総枠を拡大したいと言われているので県歯としてこれを積極的に支援したいと考えている。

さて、県歯では平成9年以来、私共の取り組んできた社保診療報酬の低迷問題の打破であるが、原因究明の結果については、昨年12月号の歯界月報に掲載した。消費税が5%になり、未曾有の経済危機のど真ん中にあり、被保険者が1割から2割になるという悪い環境の中で、なかなか診療報酬が右肩上がりになって来ない。

今年の2月号では、審査委員会の座談会を載せている。全国で初めての試みである。

ところで議会であるが、大歯の同窓の1人が審査を受け、不正請求で厚生省の処分を近い内に受けるであろう。しかし、会員諸氏におかれは、動じずに丁寧な診療を行ってほしい。

兵歯八会の組織の合理化については、13人の事務局職員が退職し、69名の体制から58名の体制（2名は嘱託のため）になっている。

時、あたかも今年は兵歯創立100周年を迎えるので、10月30日の記念式典はじめ、記念事業に取り組んでいきたい。さらなる皆様の暖かいご支援を賜りたい。

会長あいさつに続いて本年度学位受領者11人の中、この日、出席した久野幸紀（中央区）、元

地茂樹（洲本市）、山内義之（芦屋市）の3氏に中塚会長から表彰状と記念品が手渡された。

なお、その他の学位受領者表彰者は次の通り（敬称略）。稲本雄之（西宮市）、杉本圭介（尼崎市）、島谷肇（宝塚市）、段充（姫路市）、古市憲史（東灘区）、永見彰敏（西宮市）、合田征司（東灘区）、厚味真二（東灘区）。

次に、物故会員に対して弔意黙祷が行われたあと報告に移った。

報告では、和田専務が会務報告を、西海常任理事が会計報告を、村井副会長が本部報告を、それぞれ資料をもとに詳しく行った。

引き続き議事に入ったが、第1号議案、平成10年度収支決算に関する件が上程され、山脇監事が監査報告を行った後、採決、全員異議なく可決承認された。

次いで、第2号議案 平成11年度事業計画に関する件、第3号議案 平成11年度収支予算に関する件、第4号議案 会費の額及び徴収方法の3議案が一括上程されたが無事承認された。

第5号議案の役員改選については、西條（須磨区）、吉田（尼崎市）両氏の会長、監事の留任を希望する発言があった後、審議に移ったが全員異議なく可決承認された。

協議では、第41回会員大会について住谷神戸分会長が、本年8月7日（土）午後2時から新神戸オリエンタルホテルの10階「真珠の間」で新卒会員歓迎会も兼ねて行われること、アトラクションにブラジルのサンパショウを用意していることなど説明し、会員の出席を強く呼びかけた。

その他では、70歳以上の会員について会費徴収を続けるかどうか、会員大会を無料にしたかどうかとの意見もあると和田専務から報告があった他、今年は会員名簿を編集する年度にあたるので名簿作製委員会を設置したい、委員の選出については会長に一任してほしいとの提案があり、承認された。

最後に、飯田副会長の閉会の辞で総会は終了した。

井上正義教授が講演

## 歯質接着システムの 歴史、現状などを研修



歯質接着システムについて講演する井上教授

### 大阪歯科大学兵庫県同窓会 学術講演会

平成10年度の大阪歯科大学兵庫県同窓会の学術講演会が平成10年11月28日(土)午後3時から兵庫県歯科医師会館の4階会議室で開かれた。この講演会の案内はだれでも参加できるように、大歯同窓会会員のほか、兵庫県歯科医師会の会員全体に発送されており、この日は81人が熱心に受講した。

講演会は和田兵庫県同窓会専務が司会し、中塚会長があいさつを行った。そのなかで会長は兵庫県歯科医師会が9月26日に新オリエンタルホテルで行った兵歯会員福祉大会と、11月14日にポートピアホールで行った全国歯科保健大会について参加者がそれぞれ930人と2600人であったと報告し、どちらも盛会に終わったことを感謝した。また全国歯科保健大会は震災のために兵庫県の受け持ちが今年まで延期されていたが、今後、各地区の負担が大きくなり受け先がないので、おそらくこれが最後になるだろうと付け加えた。

講演では大矢常任理事が座長を務め大阪歯科大学歯科保存学講座の井上正義教授が『歯質接着システムについて』という演題で講演した。

教授はまず、審美修復材料がシリケートセメントやMMA系即時重合レジンであった時代には歯質への接着性がなかったことや歯髄刺激性、変色、磨耗などの欠点が多かったことなどを説明した。

現代ではこれらの欠点を無くしたグラスアイオノマーセメント、レジン強化型グラスアイオ

ノマーセメントやコンポジットレジンが用いられている。歯質接着技法である歯質接着性コンポジットレジンシステムが導入されて以来、修復予後への信頼性は非常に向上したと考えられるが、これらのシステムはメーカーにより少しずつ異なり、多くの種類があり、また操作の煩雑さなどのためユーザーである歯科医にとっては混乱をきたし、実際の臨床の場において大きな障害となっている。

そこで教授はこれらの接着システムを整理するために、まず歯質接着性コンポジットレジンシステムの基本構成である歯面処理剤、プライマー、ボンディングレジンの役割と接着のメカニズムについて説明した。その後、現在多く発売されている4つのタイプの歯質接着性コンポジットレジンシステムについて商品名をあげ、操作手順とそれぞれの特徴について、一部臨床例もまじえて講演した。また、最近話題になっている環境ホルモンの問題にもふれ、安全であるという見解を示した。

最後に飯田副会長が謝辞を述べて講演会は終了した。





## 神戸分会

第41回会員大会を当番分会として無事終えて  
まずもって、第41回会員大会が本部、当分会  
会員・役員、および関係各位のご尽力とご協  
力を経て無事に終えたことを書面をもって厚く  
お礼を申し上げます。

さて、平成10年8月8日第40回本大会が尼崎  
分会の当番分会として終えたことをうけて、和  
田専務理事より第41回会員大会の式典は本会  
で懇親会は当番分会で行うのが慣例となってい  
るので準備して下さいと旨をうけ、準備に対す  
るノウハウを受けたことから始まった。

第1回準備委員会を平成10年12月15日に立ち  
上げ、平成11年7月1日まで4回委員会を開催  
致しました。予算面でも西海会計常務理事から  
暖かい言葉を頂き、式典の部として講演会を震  
災から4年目を迎え、明るさと笑いが消えてい  
るところから、吉本興業の役者、舞台俳優とし  
て有名な「花紀京氏」を懇親会のイベントとし  
て夏真盛りの神戸市民の定番の会員の方々にも  
楽しんでもらえる「ブラジル・サンバ・ショ  
ウ」を第2回役員会で立案、意見交換のうえ、  
決定した。なかでも花紀京氏については事前交  
渉のため本年6月6日大阪新歌舞伎座の楽屋裏  
に和田専務理事とお訪ねし、当日出演をお願い  
致しました所、心よくお受け頂き、かつ中塚会  
長とご親友であったことも手伝ってスムーズに  
いったのも幸運であった。いずれにせよ、人と  
人とのつながりのなか、8月7日開始に向け本  
部午山事務局の助けを借り前準備を整え本番を  
迎えたわけです。

当日、第41回会員大会が8月7日（土）午後  
3時から新神戸オリエンタルホテル10階真珠の  
間で開催された。

来賓としては大歯大本部から長谷川副会長、  
佐川理事長・学長を始め29名、新卒業生9名、  
会員433名、計471名の出席のもとに盛大に開催  
された。

第1部式典は和田専務理事の司会のもと飯田  
副会長の開会の辞で始まり、中塚会長あいさつ  
のあと、来賓代表者のあいさつがあり、平成10  
年度新卒業生9名の紹介があった。その後、当  
分会としての歓迎のあいさつ後、次期当番分会  
の芦沢分会長のあいさつがあり、第1部式典を  
終え、第1部イベントとしてトーク・ショーと  
して「お笑いについて」を講師花紀京氏と浜田  
当分会実行副委員長とのトーク談義が行われ、  
人と人との間の取り方などにつき、味わいのあ  
るトークショーを無事終えた。

その後、第2部懇親会については奥田実行副  
委員長の司会のもと岡田副委員長の開宴の辞で  
始まり、乾杯を大歯大本部田治米専務理事の音  
頭で高らかに杯を上げ、ブラジル・サンバ・  
ショーで会場は熱気につつまれ、おいしい料理  
に舌づつみのうちに午後5時30分井上実行委員  
の閉宴のことばで無事に盛会に大会を終えた。

当番会として、当初お引き受けした時には本  
当にうまくできるのかなと不安が実際によぎっ  
たのですが、幸いにして神戸分会としては分会  
員558名と県下で一番多く、マンパワーと逸材が  
多くおられたので準備委員会と本部とうまく連  
携ができ、かつ多くの人に助けられ反省点も多  
少はありますが、会員のために大会を1人でも  
多くの人に楽しんでもらえることを基本に施行  
したつもりですが……。無事終えたことに再度  
書面をお借りし感謝致しております。

さて、神戸分会としまして今後の事業内容と  
しまして、執行部として来年度の総会に向け  
て、会員名簿、会則の一部改正に着手しており  
ますので今後ご指導ご協力を賜りますようお願い  
致します。

(住谷幸雄 記)

## 東灘支部

このたび、はからずも東灘支部長の役を下井田前支部長より引継ぐこととなりました。はなはだ単純、簡単なことで恐縮ですが同窓、同窓会という文語を“広辞林”で引きますと同窓…共に同じ学校に入学し、又同じ先生について学問をすること。同学。同窓会…同窓であった人々の集まる会合とあります。

この文語から想像されることと、東灘支部80数名の同窓の先生方との結びつきを考えるに、皆さん年代層はそれぞれ違っても、京阪牧野校舎のたたずまい、校門入口の松林、今は新しくなった、くずはの学舎、時計台。

また、天満橋の新病院棟、大学棟、等々、学生時代のつらかったこと、楽しかったこと、様々なつかしく思い出されることもあるだろうと思います。

同じ大阪歯科大学を巣立った者どうしが、和をもってかばい合い、協力し、親睦を深めてゆけるように援助させていただくのが、私に与えられた使命だろうと思っております。

親睦と言えば、日本人気質として、どうしても、酒、宴会に結びつき勝ちですが、いろいろな手段が有るだろうと思われます。

雑談、趣味の会、旅行会、ゴルフ会等々、お聞きおよびと思いますが、来る2001年には、大歯は90周年を迎え、天満の病院の横に温泉を掘り当て、同窓が自由に温泉に入れるような設備を整えたいと、佐川学長も明言されております。このことも1つの親睦の場となることでしょう。

昨今の非常にきびしい歯科業界にあつて、何を甘いことを言っているのかと、お叱りを受けそうですが、こんな時期であればこそ、個人では出来にくいことを、80数名の組織ではありますが、一丸となつて、苦難を乗り越え、発展的な考えを持って行動したいと考えているところです。

大阪歯科大学のますますの発展を願いつつ、東灘支部会会員皆様の協力をよろしくお願い申し上げます。

(大川 勝 記)

## 兵庫支部

“支部長が代わりました”

12回の皆様方、お元気でお過ごしのことと存じます。

9月11日(土)にポートピアホテルで久しぶりに兵庫支部の総会を開きました。今年は7月に広島県尾道で12支会全体の総会が行われてすぐということもあつて、出席者が少なかったのですが、無事に終了しました。

この総会では2つの議案が提案され、第1号議案の決算については崎山君から丁寧な説明があり、可決承認されました。第2号議案は役員改選についてで、黒田支部長から辞任の申し出があり、全員で長い間のご苦勞に対し感謝の言葉を送つて了承しました。

次期支部長に川口君をという声があり、全員でお願いしましたが、ご本人が体調不良の為受けられないと固辞された。それなら中川お前がやれということで小生にお鉢がまわつてきました。ピンチヒッターとしてお引き受けすることになりました。精一杯努力するつもりですのでご協力の程、よろしく願ひいたします。

12支会のメンバーはそれぞれの地方会で活躍されている方も多数おられますが、還暦も過ぎた事です。くれぐれも体調に気をくばりときどき立ち止まって、ゆっくりやりましょう。

(中川 真 記)

## 北 支部

当、北支部は約40名弱の同窓会員にて結成されています。

今年の4月より支部長、役員も交代し、残念ながら未だ全員の集合するような機会を持っていませんが、今後共、分会や本会に追従し協力する事を念頭に置きながら、支部としての活動を続けていきたいと思つています。

(濱野正和 記)

### 三田支部

神戸分会三田支部では、三田歯科医師会の会員36名中10名が、大阪歯科大学卒業生で、以前のように会員数の8割が大歯卒であった頃とは、あらゆる会合（各委員会、研修会、ゴルフ、その他同好会）において、異なる文化、教養、考え方が違って、いろいろ個人的には、参考になることが多く、各人各様に視野が広がって、時代が世紀末にむかって進んでいる事がありありとうつし出されている今日この頃…。

これからの時代をたくましく生き抜く為には、働く人も（従業員）企業も（経営者）組織も（組合）世の中に対して自分は何をなすことで、いかに役に立っているのか。それをふりかえって考える時がやってまいりました。

どんなに時代が変わっても、その時代、時代で人様のお役に立っている人や、企業や、組織は必ず生き残るだろう。

21世紀の日本は、限りなく国際化し、また高齢化が進む時代です。今までの様に縦割り社会の常識や、若さによってのみ社会の活力が測られる古い時代はもはや通り過ぎ、新たな時代が始まり、その一番初めの先駆者がわが大阪歯科大学卒業生の中から生まれてくる事を祈るのみです。

第41回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会新卒会員歓迎会には（平成11年8月7日（土）新神戸オリエンタルホテル真珠の間）三田支部からは7名の若い先生が出席され、よく世間でいわれている「3つの合い」が生まれた事でしょう。

まず第1に“出合い”という合い。第2に、“話し合い”という合い。第3に“心のふれ合い”というこの3つの合いがあって、初めて心のあたたかいぬくもりのある人間関係が出来あがり、明日からのエネルギー源となった事でしょう。

三田歯科医師会においては、毎月理事会があり、前期後期の学校検診は、（全員校医）全員参加となっているため、大歯卒のみの会合をもつ事は少なく、それぞれ大歯卒の先生は、会の主要ポストにつかれ、会のよき原動力となって、

活動されておられます。

最後に我々大阪歯科大学卒業生は、各人がそれぞれ大歯卒である事に“誇り”と“勇気”をもって、“気安く”“気楽に”いついつまでも、“気長に”おつきあいの出来る同志でありたい、と思っております。

（豊後 護 記）

### 尼崎分会

大阪歯科大学兵庫県同窓会尼崎分会総会

平成10年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会尼崎分会総会、学術講演会及び懇親会が平成11年3月7日（日）午後4時からホテルニューアルカイックにて開催された。

総会に先立ち行われた学術講演会では、講師の杉本 叡（大歯18回）先生の「歯内療法の治療について」（①有髄歯の治療・②無髄歯の治療）についての講演があった。

- ・歯髄炎の歯牙は歯髄が感染し象牙細管にも細菌が進入している為最低1日は薬物での殺菌が必要である。
- ・殺菌をしていないと何年か後に根尖病巣を作る可能性が非常に大きい。
- ・抜髄後3日～1週間で根尖孔はセメント質で閉鎖される。
- ・根充は根尖孔から0.5mm手前までが理想である。
- ・1mm手前で1ヵ月、2mm手前で3ヵ月程かかってセメント質で閉鎖される。
- ・根充がオーバキャナル エキステンションした場合は癒痕治療する。
- ・ポストコアはポストを8mmは確保する又根の破折を防ぐ為、根を1mm程抱きかかえるようにすること。
- ・コアと冠とは同一メタルを使用する。
- ・臼歯においてポストコアを作製する場合、主になるポストを長くとればあとは回転防止の為の短いポストで良い。
- ・根尖病巣のある歯牙を根充し3週間経過観察し予後不良の場合は根尖を掻爬再植するとよい。

- ・智歯を抜去した場合冷凍保存しておけば第一第二大臼歯として再植可能である。
  - ・根の彎曲している場合最大根尖より2mm手前までの根充で良い。
  - ・根管清掃拡大の時 GLy-oxide Liquid を使用すると作業がやり易い。
- 等の内容であった。

総会は午後5時30分より、橋爪年世専務の司会で始まり開会のことばの後、物故会員の美野久伍(専15回)、鈴木勝昌(大21回)両先生に対して黙祷を捧げた。

次いで水野康朗分会長の挨拶で「同窓会は会員相互の親睦を計り母校の発展に寄与するのが目的だが、歯科医師会の会務執行にも協力して行きたい。社会保障は3つの柱からなり年金が5、医療が4、福祉1の割合で行われているが、これから年金が5、医療3、福祉2の割合にシフトする。地域保険法、介護保険法が実施され21世紀の歯科界を左右することになり会員の一致団結が必要だ」と述べた。

続いて来賓紹介で中塚裕兵庫県同窓会会長、和田透同窓会専務理事、井堂孝純兵庫専務理事の紹介があり、中塚裕会長より挨拶を賜った。

新人会員は前田博章(大42回)、渡邊橋三(大40回)両先生の2名であることが紹介され、学位は西村三代子先生が受領されたことが報告され表彰が行われた。

会務報告では、尼崎分会会員数が159名であること、新人会員が2名、退会者が2名、物故会員が2名であり、家族物故者はおられなかった。役員会が3回、小役員会が1回開催されたことが報告され第40回大阪歯科大学兵庫県同窓会が8月8日新神戸オリエンタルホテルで500人に及ぶ出席のもと開催され当番分会として協力願った会員に謝辞が述べられた。

大学関係については、現在99名合格者の発表があり、補欠が50人いて順次入学辞退者の補充が進められていること、眼科が新設されたこと、ボーリング中だったところから44℃の温泉が湧き、福祉施設か付属病院で利用されること等が報告された。

議事では

1. 平成11年度事業計画に関する件
  2. 平成11年度予算に関する件
  3. 平成11年度会費賦課徴収方法に関する件
- が上程され、3議案、可決承認された。

懇親会は50人ほどの出席で開催され、来賓の先生方と共に楽しい時を過ごした。

#### 大歯同窓会尼崎分会・会員・家族 ボウリング大会

会員相互の親睦を計ることを目的に平成9年8月30日に滋賀県の長浜に日帰り旅行を実施、平成10年は当番分会として兵庫県同窓会に全力をあげたが、平成11年は会員・家族ボウリング大会を開催することとなった。平成11年7月24日(土)午後2時30分、ラウンドワン尼崎店に参加者20名が集合、男性13名、女性6名、子供1名の参加であった。競技を伯仲させる為、女性20ピンプラス、子供50ピンプラスのハンディをつけ、8レーンを借りて3ゲームトータルの熱戦を行った。近頃あまりボウリングをやっていない参加者も多く、1ゲーム目はピン数の伸び悩みに戸惑っていたものの次第に昔の感触が蘇り、徐々にピン数を延ばして行った。

結果は1位 499、2位 476、3位 456、……19位 299、20位 258、であった。優勝、準優勝者には賞品が渡されブービーの方にも賞品が渡された。久しぶりのボウリングに心良い汗を流し参加者全員ご満悦の様子であった。

平成11年度大阪歯科大学兵庫県同窓会尼崎分会総会が平成11年7月24日(土)午後5時よりホテルニューアルカイクで開催され、

- (1) 平成9年度収支決算
- (2) 平成10年度収支決算

が可決承認された。

協議において平成11年8月7日(土)に神戸分会の当番で第41回大阪歯科大学兵庫県同窓会が新神戸オリエンタルホテルで開催されるにつき出席方、協力依頼があった。

(渉外部 松岡道生 記)

## 西宮分会

去る6月12日、平成11年度定時総会を開催し、平成12年度事業として(1)定時総会及び懇親会の開催(2)学術講演会の開催(3)8月7日、大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会への参加(4)会員リクリエーションの開催(5)敬老の日のお祝い贈呈(6)その他目的の為の必要な事項……が承認されました。

又、定時総会に先立つ4月17日には会員家族リクリエーション「神戸港ディナークルージング」が参加者99名にて行われ、夕暮れの幻想的な明石海峡大橋を望みながら、イタリアン料理を賞味した後、吉本新喜劇、若手落語家「桂三若」さんの軽妙な司会で全員総当たりの「クジ引」で2時間半、大いに盛り上がりました。

9月15日には「敬老の日」のお祝いとして22名の先生方に「花束」を贈呈致しました。

平成12年度も、宮崎晴吾会長を中心として会員相互の「和」をモットーに執行してゆく所存です。

尚、現在西宮大歯会会員数は144名(内、本年度入会者は3名)でございます。

(栗本 明 記)



## 摂津分会

梅雨明け間近な平成11年7月3日(土)午後5時より伊丹第一ホテルにおいて平成10年度摂津分会総会が伊丹支部の当番で開催された。

総会に先立ち弁護士、南川博茂氏による「身近な法律の話」という演題でご講演いただいた。

印鑑の話に始まり最後にはスタッフ教育の話まで1時間を一気にしゃべられ非常に中身の濃い講演であった。昨年も銀行マンによる「金融ビッグバン」が演題で私達の臨床から離れたテーマを掲げたが先生方の評価が気になるところ。

その後、午後6時より総会が開会され、物故会員に対して黙祷、報告事項、議事へと進みその中で、宝塚市の澤茂先生による母校報告、芦屋市の和田透専務理事による大歯兵庫同窓会への参加呼びかけ、新入会員8名の紹介があった。

協議事項では「高齢者の会費猶予、免除」が井上分会長より上程され、分会長、副分会長の承認があれば許可するという決議がなされた。

総会終了後はお待ちかねの懇親会へと進み、伊丹市の八竹良清先生による乾杯の音頭で皆和気あいあいとなり昔話に花を咲かせる人、近況を語り合う人など大歯の仲間意識もあり時間があっという間に流れた。最後に全員で集合写真を撮り川西市の木南卓也先生の閉会のことばでお開きとなった。ただ残念な事に、当日まで出席の予定はなく急遽出席していただいた川西市歯科医師会会長、谷茂樹先生がこのあと逝去され、もうお元気なお姿にお目にかかれないのはさびしい限りです。ご冥福をお祈りいたします。

(勝山篤信 記)



## 淡路分会

この度、竹谷三省先生が永らく分会長をお務め下さいましたが、ご高齢のため、その職務を全うする事が困難になったと、ご勇退のお申し出がありまして、急遽8月18日に淡路分会の総会が開催され、不肖私はその席につくことになりました。

まさに晴天の霹靂でありまして、その器ではありませんが、出席会員の先生方全員の推挙をいただきましたので、まことに僭越でありますがお引受けすることを決意いたしました。勿論浅学非才で微力な私ではありますが、会員の皆様のお力添えをいただき一生懸命務める覚悟でありますので今後共よろしく願います。

なお淡路分会は、

洲本支部長 吉田 圭輔先生

津名支部長 神田 昇平先生

新たに三原支部長 天羽 峻先生となりますので共々よろしく願います。

最後になりましたが、長い間我々淡路分区のため、ご指導ご鞭撻をいただきました。竹谷先生のますますのご繁栄とご健康を祈念いたします。

(糸田英俊 記)



## 専13回

### 「後の月」

秋風や手にも了へざる医者泣かせ

六甲を見越の芙蓉咲くなべに

トンネルを出づればありし落し文

打連れて嶺越ゆ辛夷空がある

突つ支い棒太しくやさし花芙蓉

水尾曳きて一羽は淋し通し鴨

八朔の子守に灯下母やさし

後の月身上に来ぬ鹿火屋守

鹿香吊り了ふむささびの声援に

団円の俯き入りて小鳥来る

身に入むや水にまいまい大休止

望郷に耐ふる牧牛秋の暮

(佐本洛木)

## 専18回 聚蜂会

朝晩は肌寒いほど気温が下がり、銀杏が色づき始めた街並みの風景が、道行く人達に秋の深まりを告げているかの様な今日この頃です。

我々専18回（昭和13年卒業）の同期生130名も現存者僅か29名になりました。

兵庫県下も7名に減ってしまったものの、皆、今なお現役で日常の歯科診療に携わりながら夫々、趣味を嗜み、自分らしく頑張っていて、大変心強く頼もしく思います。

ただ何よりも残念な事は、歯科界の重鎮として長年元気で活躍して呉れていたクラスメートの大浦波夫君が病魔に倒れ、去る1月13日遂に帰らぬ人となりました。同じ学友として青春時代を過ごし、私の人生の大半を歯科医の最も良き友として時には競い合い、時には支え合い、時には励まし労わり助け合って来た間柄だけに、其の友情は、とても明るく、深く近いものでした。まことに痛恨哀惜の念に堪えません。

昨年は大阪在籍の難波靖昌君、井口浩君が亡くなられて、本年5月18日には、浜田勇君（大阪）が逝去されました。在りし日の温容を偲びつつ、謹んで哀悼の誠を捧げ心からご冥福をお祈り申し上げます。

どんなに我々が不老不死を願おうとも、此の世に生を受けたものは何時の日にか此の世を去る時が来ます。生命現象は、人間の知識や知恵を遥かに越えたところにあつて、いのちの尊さと、不思議さと恐ろしさを教えてくれます。

人の哀しみを自分の哀しみとし、人の喜びを心の喜びとし、互いに深く手を握り合つて、与えられた限りある人世を、焦らず諦めず常に希望を持って、明るく生き抜きたいものです。

1人の温かい微笑みが周りを明るく和ませ、また、1人の優しい労りの言葉が、乾いた人の心を潤し感動を与えます。

好きな事をやり、それで食べる事が出来、然もそれが人の役にも立つとして、人から褒められるような人生が理想の人生であり、言いかえれば「勤勉、親切、感謝」の実践こそ、最も充実した生き方でありましょう。

こよなく愛する同志の御多幸と、母校の生々発展を祈念しつつ。・・・

（湊 信一 記）



湊 信一 故 大浦波夫 氏

## 専20回 はたち会

「はたち会」と名付けて、いつまで経っても「はたち」でいようと昭和15年の春に出来たクラス会だったけれど、日支戦争（日支事変）に続く太平洋戦争（第二次世界大戦）を身を以て体験し、その上南方やシベリヤ抑留生活を克服して帰った仲間、或いは肺結核と闘い勝った友。

当時では勇気の要る兵役回避を成功させた友、様々な運命と日本最大の動乱期を乗り越えて123名の仲間が今日現在では35名が現存しているが半数の者達が身心の故障又は配偶者を見護るための不自由な毎日を送っている。

先に逝った友、若くしてフィリピン、ビルマ等で散った友。クラスの仲間が集う度に青春時代の思い出と共に彼岸の仲間の冥福と病中の友の快癒を祈っている。全員が傘寿を超えて了った今、只管毎日を自分らしく悔いなき人生を静かに前進している。又逢う日を楽しみに。

（磯島吉之祐 記）

## 専21回 天作会

平成11年9月24日、第50回総会が傘寿の祝い  
をこめて京都府の当番で、三谷君、中村君、三  
村君、中川君等のお世話で、開催されました。  
最初は家族も入れて31名の出席でありましたの  
に、先ず8月7日に、同伴で出席の予定であつ  
た兵庫県の堀家君が急逝され、続いて出席の予  
定はなかったが8月17日に、岐阜県の亀谷君が  
亡くなられました。此のおふたりのご冥福を祈  
り、謹んで哀悼の意を表したいと思います。

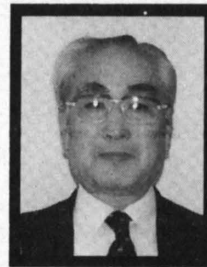
其の後、会に出席の予定であつた北海道の米  
山未亡人が、今年の夏は、連日30度以上の暑さ  
が続ぎ、夏バテでとても京都迄は行けないとい  
う通知、更に東京の岡君が足をねんざして、歩  
行困難とか、奈良の森田君は体調を崩して入院  
した由、広島の見深君も入院、江見君も急に体  
調が悪くなった由、又滋賀の北井君は同伴で出  
席の予定であつたのに急に家の事情で、千葉県  
の二男の所へ行かなければならなくなったとか  
その上22日になって板谷君から奥さんの妹さん  
が危篤で出席出来なくなり、10人も減りました  
ので京都の幹事はもう、てんやわんやでした。

所が泣き面に蜂とは此の事で、悪い事に23日  
頃になると、中型で強い台風18号が九州に上陸  
し中国地方に向かい、暴風圏に入ったとか、当  
日は朝から航空機もフェリーもストップ、明石  
大橋を始め四国を結ぶ3大橋共通行止めで、徳  
島の福島夫妻と大島夫妻、福岡の樋口君と同伴  
の方、又北陸線も雷鳥がストップの為松井宣和  
君は車椅子で金沢駅迄行ったのに特急雷鳥は運  
転中止。息子からの電話では「バスを乗り継い  
で何とか行かれんかやあ」とおやじが言うので  
今調べとりますとの事であつたが結局来られ  
ず。うれしかった事に愛媛の日野君が台風を予  
期して前日から京都へ来ていました。突然受付  
に現れた時は、一同喚声をあげました。31名の  
出席が最終的には12名になりましたが、台風の事  
ですからホテルも大変理解してくれてキャンセ  
ル料は全然取らなかったとの事、京都幹事の顔  
が物を言ったかホテルのサービスが良かった  
か、無事総会も懇親会も終了して、又来年もこ  
のホテルで10月の第3金曜日にやろうという事

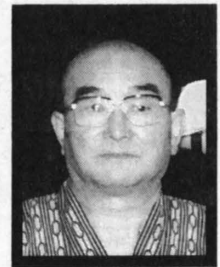
に決まり、翌朝は少ない乍も一部はタクシー  
で、京都観光に出発しました。

追記 平成10年度の大阪総会の際の写真が、  
締切日に間に合いませんでしたので、ここに今  
年度の分とあわせて掲載致します。

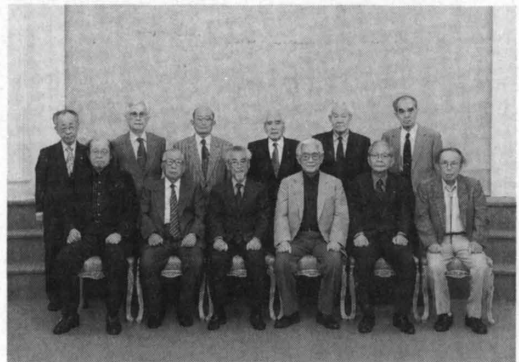
(小寺長蔵 記)



堀家吉夫君



亀谷 昭君



大阪歯科大学天作会  
平成11年9月24日 於 京都東急ホテル



### 専23回

今回は、角田豊作君がクラス代表に、八竹良清を評議員に推薦して同窓会のクラス担当業務を処理しているが会員の増齢傾向には如何とも抗し難く、会合にもお顔が少なく寂しい限りである。

全国対象に集会のクラス総会もいまだ機熟せず今しばらくお待ちを請う現況である。

最近の同期生の訃報を連絡申し上げ、クラスの報告にかえる次第。

#### 最近の専23回生の訃報

10.12.12	姫路	西川 滋弘
11.1.25	京都	有本 武二
11.9.	名古屋	小塚 次良

(八竹良清 記)

### 専26回

兵衛二六会の級友諸兄、その後御機嫌如何ですか。本年は幸いにも不幸の知らせもなく大変喜ばしく思っています。ただ今年に入って故障を起こす方々が続いております。年齢からみてまあ仕方のない事かいなと思えますけれど、まだまだ老い込むは早い元気を出して夫々日常生活を送ってほしい。

さて去る9月30日に兵衛の紀壽厚生年金授与式に参加された級友から得た諸兄の消息を誌上を借りてお知らせします。当日出席者は次の諸君です。足立、上住、河合、木村、瀧野、田村以上の6名でいつもの顔振れでした。

今年の故障者の皮切りは河合君で2月に入院したとの事で急遽病院(神戸須磨日赤)へ見舞に行きましたが、心臓、肝臓、腎臓と五臓が全部悪いのやとのことでしたが意外?と元気で春先には退院現在酒も程々に日常生活を送っています。上住君も一時不調で休んだこともあった様ですが、相変わらずライオンズクラブの世話に忙しい。2年程前の冬、大雪の日に転んで足を骨折した木村君、杖を友としての歩行が続いているが、手術をすすめられていて迷っている様。仲々タフに見えていた足立君、最近フ

ラッとした事があった様で用心用心、月に何回かの兵衛青申会へ青垣町から出務、遠い所から御苦労さんです。級友の中でも一番活気のある瀧野君、活気にまかせての車の運転には時として肝を冷やす。足立君よりまだ遠いその名も遠阪峠を越えて兵衛本会の監事職に出務すること再々の様なのでその往復の運転にはくれぐれも注意をしてほしい。当日欠席の諸君の内、三木君は暑い時は外へは出たくないとのことで相変わらず魚に関してはウルサイ。まだまだ元気。嘉ノ海さんは専ら百姓三昧とのことで悠々たる日常うらやましい限り。原君はゴルフ漬け?の様で健康の様です。伊藤正夫君は目下療養中(病名不明)とのこと、その他の諸君は消息が聞こえません。一度ウンとかスンとか言って下さい。県外では最近次々と訃報が続きます。二六会の象徴的存在であった森政和君が8月に亡くなりました。7月の始めに叙勲の祝賀会があったばかりなのに残念なことです。兵衛二六会から7月には祝意を表し8月には弔意を捧げておきました。その他、井関君(京都)高橋康次君(大阪)が相次いで亡くなっています。御冥福をお祈り致します。こうして何人かが毎年減ってゆくのは世の常とは言いつ誠に淋しい。決して増えることの無い級友達よ。元気でいるならあらゆる機会に会って話をすることが望ましい。と言いつ本年はクラス総会を開くことが出来なかつたので何とか年度内に開催したいと思えます。決定次第通知をしますのでは是非出席の程今からお願いします。尚二六会の総会は代表幹事が多田君(滋賀県)に交代してはじめて行われます。もう通知済みと思えますが残念な兵庫県からはごく僅か2~3名しか出席がありません。本誌がお目に入る時はもう済んでいると思えますが、総会の報告は又小生から後日報告致します。最後に小生ですが基金退任後診療に復帰しています。長年外に出ていましたので馴れない仕事に頑張っています。まだまだ心身共に健康です。級友夫々70歳を越えています。身体をいたわりつつ次の機会には明るい顔を見せて下さい。

(田村 正 記)

## 専27回 牧陵会

残暑の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。例年になく暑さ厳しかった夏も過ぎ、最近朝夕は幾分秋らしくなってきました。昨年明石海峡大橋開通記念クラス会（第51回牧陵会）が（平成10年10月14、15日）メリケンパークオリエンタルホテルで開催、総数41名の参加を得て盛大に行われました。又神戸人会の畏友故中塚博美君の弟様、現兵庫県歯科医師会長中塚裕先生が参加して下さい、心のこもる祝辞を頂戴しました。

第52回牧陵会は京滋地区の担当で平成11年10月20、21日に大津琵琶湖ホテルでクラス会、延暦寺を参拝、ロテルド比叡で食事等を計画されておられますので、神戸人會も昨年皆様に御協力して頂きましたので、全員そろって出席させて頂きたいと思ひます。神戸人會でも何時も元気で出席されていた森鼻君が体調をくずし、大阪歯科大学兵庫同窓会會員大会でも高橋利治君、西原君、私の3人出席でした。大変さびしくなりました。皆様お体には十分に注意して、またお会いして同窓会の発展のために御協力をお願いします。

（高端友之 記）

## 専30回

兵庫県歯科医師會が創立されて丁度100周年を迎える事が出来たという事は會員にとって心から喜ばしい事であると思ひと同時に我々、“みとわ會”のメンバーとしても1950年3月に卒業して50周年を健康で迎える事が出来ました。二重の喜びであると思ひしております、しかし乍ら平成11年8月に姫路の保井諧至君が逝かれた事を報告しなくてはなりません。彼は、我々の會合には余り出席はしてもらえなかったけれど、やはり病弱で（或る一時期から）あったと聞いていました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

みとわ會の先生方は今共済會のお世話になって居りますがいつも健康で日々の診療と日進月歩の歯科医療に遅れない様、勉学に勤しむ様前向きにゆっくりと歩いて行きたい事だと思ひます。昨年も又私事で申し訳ないが多忙を極め、

“兵齒みとわ會”を開催することが出来なかったけれども今年こそは是非とも場所をきめ開催したいと思ひております。お互いが元気である事を確認し合うことこそ大切な事実と思ひているのは小生1人ではないと思ひます。毎年4月に開いていた關係でその時期が近づくと色々不都合な事に煩わされ、本年も又中止かと2年続きの不開催となりまことに申し訳なく思ひております。副會長の小川君と中森君、會計幹事の広瀬君それに小生の4人が全員揃つての會合は今迄行われていない状況なので前記の様にこの2000年は卒後50周年を記念した會合にしたいと思ひておりますので、是非共29名の兵齒みとわ會の先生方のご出席を心より待つております。よろしく。小生は昭和28年に現住所にて開業しましたが開業以来目まぐるしい程の人生を送つて来た様な気がして今少々の反省と懐かしさを感じています。それは恐らくバブルの時代を通り過ぎて来たからかなと思ひています。新時代の歯科醫師の方々は本当にそんな時が有つたのかと思われるでしょうが今では不良債權がどうか心から信用していた金融機関がどうか日本經濟の不安定さが全てに曝け出されてしまった状況の中で希望を持って目の前まで来た21世紀をどう迎えたなら良いのかと思案投首の状態であろうと思ひます。然し乍ら必ず明日は有ると考え努力しなければ、われわれの業界の発展は有り得ないと考えます。みとわ會の全員が70歳を越えた今、社會がこれを老人と稱するならば兵齒會員の大先輩は90歳を越え100歳にしてなお矍鑠としておられるのをお見受けする度に、“みとわ會”はまだ若いと思ひてしまいます。しかしどうあれ70歳はやはり70歳だと自分自身では認識したくはないが、それは当然であるというのであれば、これから先は徐々にゆっくりと“行雲流水”の如き心境をもって小生に与えられた唯一回の人生を楽しみたい。又、會合の折にはそれぞれの先生方の実体験とか色々な事について語り合ひをお互いが出来る様なそんな會合が持てたらいいな、と思ひております。みとわ會の先生方よろしくご協力を下さい。

（関川 健 記）

## 専32回

「卒後48年、皆さんお元気ですか」

県32回のお世話をしてもらっている藤本君から県大歯同窓会誌に、何か書いてと突然依頼され、日頃片寄った仕事に集中している小生としては、何でもいいよと言われても散文的な事しか思い浮かばぬまま筆を走らせます。

1999年も余すところ2ヵ月余り、今年は“ノストラダムス”の予言が当たるがどうか巷でいろいろ噂されたがなんとか身辺では無事過ぎてゆくようでホッとしました。しかし志を抱いて歯科医となり半世紀、今年は親しかった伊丹の前野君、宍粟郡の塚本君が他界され、減っても増える事のない同窓会の侘びしさをしみじみ感じます。思い返せば終戦後の混乱の時代を学業に励み、卒業後兵庫県内で50余名の学友と共に歯科医療に従事し、気が付けば歯科医師過剰、パブル崩壊、年金削減等、老齢歯科医にとっても楽しい心安らかな環境ではありませんが、32回本部より20世紀最後の年である来年、兵庫県で全国大会をやって欲しいと、藤本君に依頼があり、藤本君を中心に会場の選定に又企画に、今年から準備をしようと役員の方々と活動する事になりました。

久し振りに学友が集まり、昔話に又、息子や娘、孫の話題に花を咲かすのもよし、趣味の話もよし、俺、お前の間柄で一夜を過ごしたいと願っています。そうして2001年、21世紀の最初の年に大阪で、卒後50周年の同窓会を開催しようとしております。楽しみにして下さい。

最後になりましたが県歯会長の中塚君は兵歯創立100周年目の会長として多忙な日々を元気に頑張っており、会務の改革を初め一連の公務を順調に進めて、会員のための会作りに頑張っています。我々同窓会も誇りとし出来る限りバックアップします。

最後に皆さんの健康と御多幸と祈って、小生の好きな人生訓を記しておきます。

負けたらいかんよ 自分に

なくてはならない人に、なろうよ。

(小野 晃 記)

## 京 城

大歯大と京歯大 (現ソウル大歯)

大阪歯科大学と京城歯科医専とは兄弟の様な関係。このことを兵庫県歯科医師会の百周年の祭典の時にこの稿を書くのは私としてもよい記念になる。

80年程前からの話になりますが、満州生まれの朝鮮育ち、京城歯科医専卒は昭和11年(1936年)より引揚げ、昭和21年(1946年)まで、京歯在職。学生時代より卒後も、大歯より来られた、矢尾太郎教授、西山幸男教授、垣見庸三教授の御指導を受けた。小生卒2年助手の時京城歯科医学会に大阪歯専より、朝比奈校長、原教授、白数教授が来られた。此の頃支那事変が始まった。

昭和13年春だった。京都で日本医学会があった、その頃歯科医学会は医学会の分科会だった。私は卒後初めての研究発表で、京城帝国大学の恩師津崎孝道教授と西山教授の供として参り、行きに大阪歯科の天満の病院を見学し、新しく出来た当時素晴らしいのに羨ましかった。

それから牧野の学校の方で朝比奈校長にご挨拶にその時「若いのだ大いに勉強して満州、北支の方に発展しなさい」とお言葉を戴き、又解剖の白数教授からも研究が完成したら、「満大に歯学部を作るのだな」と激励のお言葉を頂いた。それに我が京歯の柳楽校長が、私達に特に卒業生を送る言葉に「広大な南満、北支に進出することを進めた」。それで先輩や私のクラスも満州北支に進出。各人羨ましい発展を一生安楽と言う。しかし其の頃日本の軍部は広い中国を手中にし支那事変から大東亜戦争、更に太平洋戦争となった。勿論私も昭和13年の学会から帰って召集となり、歯専教育3ヵ月、京城の陸軍病院の病理解剖班からテーマは「マラリアとコレラ」の予防と早期発見と治療、目に見えない弾丸と戦うのだから充分注意してと言われ、南支広東中山大学附属病院を振出しに香港病院、ハイホンからハノイ、シンガポール、ここで山下將軍とイギリスのパシバル將軍と会見講和を申し込まれたとか、山下將軍は私の一存ではと、時の陸軍大臣東条英機に問いの電話

「日本はそんな腰ぬけではない戦争続行」と言ったとか。広島、長崎の原爆。

「戦運我に利なく」昭和20年（1945年）8月15日 ポツダム宣言受諾決定、終戦。

先述の満州、北支、北朝鮮に進出の各歯専の先輩諸君は安泰な生活から引揚と38度線突破そして裸一貫、命からがら引き揚げ、私もその1人、一番問題は在校生、関東、関西、九州の各歯科医専に転入して頂くお願い。当時は東京に4校、女子2校、大阪1、九州1の男子6校、女子2校、校名は東京、日本、日大歯、高等歯科（医科歯科）大阪、九州、日本女子、東洋女子。それには関西地区の大阪歯専に、前述の恩師、矢尾教授、西山先生、垣見先生に大変にお世話になった。その時の転入の方で私の頭に残る方々は、加藤喜久男先生、松本博先生、鈴木修先生、田辺五郎先生、皆立派に大歯を卒業して立派な先生となられた。これも大阪歯科大の寛大な理事会の御処置と思うと、現大歯大の終戦時の御配慮は、兄が弟を助けて呉れた様な気がして、改めて御礼を申し上げる次第です。

又お世話になった大阪歯科大卒の方々に別世の方々にお礼を申すと共に御冥福をお祈り申し上げます。又大阪歯科大学同窓会の益々の御隆盛

を祈願し、母校を異国の地に、ソウル大学校歯科大学（日本同窓会）の1員として、兄の大歯大同窓会に感謝します。（敗戦の思い出）

同窓の先輩、後輩共に会合は楽しい。特にクラス会は楽しい。私は前述した如く、京歯昭和11年卒、現在18名、1昨年奈良を観光したが、同伴者共で8名だった。（九州2、兵庫1、新潟1）

来年5月の日本歯科医学会とアジア太平洋歯科医学会には、ソウル大学校歯科大学の方から出席者がいると思う。今からソウル大学校の歯科の学友に連絡をします。楽しい会が、小、中、歯と33年の京城（ソウル）の生活、家も学友に、研究室の仕事も。校長は学校の全てを自宅も全てなくし、韓国卒業生に渡し、今その校舎は市の中心の為韓国銀行の敷地内に、学校は旧京城帝国大学医学部即ちソウル大学校医科大学と共に歯科大学として新しく移転、私も同窓会の招きで2、3度ソウルに出掛けたが、大変な発展振りに戸惑います。さもあらん、60年の月日が過ぎてるのだもの、何年たっても学友の絆は変わらない。

来年のアジア歯科医学会は楽しみです。

駄文失礼。

（徳丸定樹 記）

## お知らせ

## 大阪歯科大学同窓会学術講演会

下記の日程で大阪歯科大学兵庫県同窓会学術講演会を開催致します。

日 時 平成12年2月5日（土） 午後3時～4時30分  
場 所 兵庫県歯科医師会館  
演 題 予知性の高い補綴治療を求めて  
— 歯周治療をふまえた補綴治療—  
講 師 中 村 公 雄 先生 大阪市開業  
主 催 大阪歯科大学兵庫県同窓会

★この講演会は大阪歯科大学同窓会会員以外の先生がたも自由に聴講下さい。

（生涯研修カードを持参下さい）

## 大1回 一黎会

!!一黎会兵庫支部近況お伝え!!

去る7月14日(水)PM6:00より神戸ワシントンホテル三十三間堂に於いて、一黎会(大1)の兵庫県在住の兵庫支部会を1年ぶりに行いました。

吾々が学部を卒業したのが、太平洋戦争が終結し、戦後復興が緒に着いた昭和28年で、67名が卒業しましたが、現在古希を迎える年齢になると10名近くが幽明界を異にされています。県内には現在10名の一黎会会員が在住しています。

扱て支部会開会冒頭に今年5月10日、薬石効なく黄泉の彼方へ旅立たれた長浜禎昭学兄に黙祷を捧げ厚く哀悼の意を表しました。

彼の歯科医師会並びに大阪歯科大学同窓会に果たした功績は今更ここで述べる迄もなく、すでに兵歯会報、日歯広報に掲載されていた如く、兵庫県歯科医師会副会長、西宮市歯科医師会会長、日歯代議員会副議長等々多くの要職を務め、その功と人望により藍綬褒章を初め、数々の表彰を受け、これからも益々の活躍を期待していた矢先の逝去、惜しんでも余り有るのは彼の人柄のしからしむるところだろうか。ただただ合掌して、御冥福を祈りました。

(追伸 長浜学兄の追悼文は大阪歯科大学同窓会誌平成12年1月発行号に掲載しています。)



一黎会兵庫支部会 H11. 7. 14  
(於 神戸ワシントンホテル三十三間堂)

今回は、体調をくずした学兄や所用で、出席者5人でした。

宴に入り、瓦に卒後50年近い歳月経過の歩みを、しみりと酒を汲みかわしながらの語らいには、家庭家族の近況、はたまたプロフェッショナルに関しては後継者に引継ぐ問題点やクラスメートの消息等々、又この高齢化時代に個々で、堅実な生活習慣を立て、それを末永く継続して行つてこそ永く健康を保持し、希望に充ち満ちた明るい日常生活を送ることが出来るという独自の健康の秘訣を披露し、健康論に花が咲き、あつという間の2時間半では余りにも時間が少なく感ずるぐらい話が弾みました。

(山田 旺 記)

お知らせ

### 第42回 大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員大会 新卒会員歓迎会

平成12年8月26日(土)

受け付け：午後2時

開 式：午後3時

懇 親 会：午後4時

新神戸オリエンタルホテル

## 大5回 大五会

今年の異常気象、9月に入っても茹る様な暑い日が続く、9月12日(日)我々大五会兵庫県支部総会を生田神社会館、布引の間で行う。年1回の総会だけに有意義な味のある会をと思っ  
てはいるが、スケジュールの関係で難しい。丁度、今日も日歯セミナーが兵歯会館で行われその後なので、出席の同輩も疲れて気の毒だ、それでも15名も出席して戴き感謝す。お互いに、我が業界の厳しさを生き抜く為に、年齢を超えて研鑽を積まねばならない。

当日、来賓として兵庫県歯科医師会会長・大阪歯科大学兵庫県同窓会会長中塚裕先生及び同級の代表副幹事新田賢君の御出席を頂き錦上花を添えて戴き有難く感謝致します。中でも中塚先生におかれましては、公務の中を私達の為に、態々、ご都合をつけて出席して戴き、丁寧なる御祝詞を頂き、乾杯にて会を盛り上げて戴き感謝致します。

総会は井上憲司君の司会で始まり、来賓の新田賢君の祝詞に続き、議長に中田仁成君、議事録署名人に石原・藤本2人の女性コンビ、辰己隆君の会計報告、長谷川啓君の庶務報告、代表幹事の坂口喜史夫君より昨年の兵庫大会(舞子ピラ)のお礼と本年10月の大阪大会への協力要請あり、吉田洋君の大学報告、黒田洋生君の付属病院の報告に続き議事に入り、次期支部長に姫路の牧野脊三君が決まる。次いで協議に入り欠席者の中に極度に体調の悪い人には如何に対処すべきか同窓生として真剣に話し合い総会を終える。

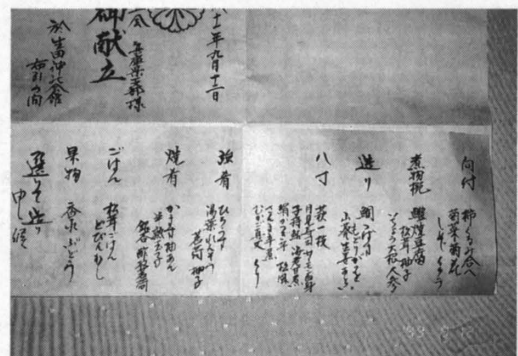
宴会迄のひと時、記念撮影、簡単にと思っていたが、さすが歴史ゆかしい生田神社、雲丹亀神官の味ある計らいで、寸時の間、生田神社神殿でのスポット、思い出の1シーンとなるだろう。

宴会は飯田浩司君の司会、気配りのある、そして、雰囲気、味をも引き立たせるトーン、赤穂の河本健行君の乾杯の音頭“お互い健康に気を付け何時迄も多くの人が参加出来る会でありたい”にて宴が開く。宴会も今回、油気を抜きにし我々年代には和風が良いのではないかと思

い猪突な考えで、便利で着ける場所を考え、生田神社会館を決めた訳ですが、宴会が始まる迄不安でしたが、思っていたよりも、内容に奥床しさを感じ、接待するボーイ(神宮)のマナーも良く、同輩達も喜び、中には感激して献立表を土産にという盛況ぶりでした。久し振りに落着いて歓談が出来楽しいひと時を過ごせた事。お世話が出来た事を喜びに思います。

和気藹々の中、時間となり、石原・藤本女性2人の閉会の辞で健康と再会を期し、且つ、10月の大阪大会の協力を誓う。有志、名残りを惜しみ一献酌み交わし友情を温め明日へとつなぐ。

(大塚壹章 記)



## 大6回

年齢を自覚しない厚かましい輩の多い私のクラスも、年金をもらう年になった。

65歳は1つの区切りでしかないが、年金は一度限りの人生が確実に終末に近づいていることを知らされる。ただ、命の終点が不明であるのは救いである。

1年先に命を失うか、100歳近くまで生きるかによって自己実現の達成度に差が出るのは当然であるから、自分は100歳まで「生」を与えられていると思う方がいい。

今から35年もあれば、そして「目標」ピント外れでないならば、何か「事」をなすことも可能だと考えられる。ゴルフのシングルになるというような体力のいる目標は持たない方がいいだろう。知力は若い頃のまま継続する可能性はある。ならば、問題を絞って「本」でも書くか。「事」半ばで呆ける可能性はあるが、それまでコツコツとやってみるか。

こんな事を言えばいかにも悠々自適のように見えるが、今の歯科界の環境はそれすら拒否している。

従業員の生活（給与）の為に働くのも、また楽しからずや、と思うことにしましょう。

(永井愛正 記)

## 大10回 ひとわ会

平成11年5月22日（土曜）午後6時より、ひとわ会兵庫県支部同窓会を、神戸市中央区の割烹「文の助」にて行った。当日は、15名（山本恭久、山之内克也、高木順次、永井清方、内田正、和田透、岸野常朝、松垣鋭治、佐々木啓、水田吉彦、加納晴彦、石田和宏、平岡俊彦、小島康二の諸氏と加宮義郎）が出席、小島支部長の挨拶に続き、兵庫県支部会計収支（平成10年4月～11年3月末現在）の報告の後、懇親会を行い和気あいあい和やかなうちに会を終了した。なお、毎年開催される全国ひとわ会は、今年は、京都、滋賀県両支部のお世話で、去る9月18日（土曜）、琵琶湖ホテルにおいて行われ、

当日琵琶湖カントリーでゴルフをおこない、夕刻よりホテルで年次総会（全国ひとわ会会長選出、年次会計収支報告、年会費増額、次期開催地、等々決定）後懇親会が催された。また次期開催地は、大阪で、次期ひとわ会会長は坂本邦基君が選出された。

(加宮義郎 記)

## 大13回 登美栄会

兵庫登美栄会恒例の一泊旅行が、12名の参加を得て、10月10日、11日に挙行された。今回の目的地は松山の道後温泉、日頃の疲れを湯につかって落とし明日への活力としようという試みである。一行は中型バスに乗り込み三宮を9時30分に出発、阪神高速、第二神明、山陽道と走り、鷺羽グランドホテルで昼食。瀬戸大橋を渡って夕刻5時、道後温泉に到着。泊まるホテルは道後温泉一といわれる“大和屋別荘”。美味しい地酒をいただきながら次々とでてくる料理に舌鼓をうちながら道後の夜はふけていく。たかが6年間机を並べただけの友とはいえ、クラスメイトの友情は厚い。どうやら、その度合は年齢をとるにつれ強くなっていくような気がする。お互いの禿上がった頭をながめながら笑い話の夜は過ぎていく。来年は我々の多くは還暦を迎える。まだまだ、人生80年代の今は、鼻たれ小僧であろう。参加ができなかった諸兄にも是非来年の旅行に参加されることを希望したい。何と言っても日頃顔を会しているクラスメイトだが、一泊の旅に会する友の顔には、昔の面影がありそして浴衣姿の談笑の中に安らぎを憶えることができる。坊ちゃんの道後温泉も素晴らしかったが、翌日のしまなみ街道の旅も、又すばらしかった。大三島の大山祇神社の国宝、重文の甲冑、そして生口島の平山郁夫美術館の見方、夕刻7時に三宮に到着。

(山口省三 記)

## 大15回 いちご会

台風一過、朝夕涼しく紅葉が素晴らしい季節になりました。兵庫いちご会の皆様如何お過ごしでしょうか。大学卒業30数年そろそろ還暦も近づき何事も無理のきかない歳になって参りました。同窓の集まりでも各々体調の話が多くなり健康の有難さが実感されます。

先生方、ご自分の健康を保つ為どの様な事をされているでしょうか。私は時を忘れる程陶醉出来る何かを見つけストレスを忘れる事しています。その何かは釣りであり骨董の収集です。釣り糸を垂れていると魚が寄っているか餌はうまく付いているだろうか等気になります。

手を替え品を替え見えない魚との対決をします。結果は大概釣れませんが帰り道和歌山方面ではみかん、西瓜、京都若狭方面では干魚、マツタケ、クリ等お金を餌にして土産を釣って帰ります。家ではその方を楽しみにしている様です。

骨董の方は真贋が問題になります。大阪京都、はては中国、台湾、香港まで足を延ばし骨董屋めぐりをします。贋物本物が混在して私を待ち伏せています。その一品の故事来歴、歴史的背景等、勉強する事は膨大に有ります。趣味での異業種の方々とのお合いも楽しみのひとつです。こんな事をしている内はストレスも吹っ飛んでいます。専門の歯科によるストレスはどうしようも有りませんがそれ以外で大いにストレスの解消を計られ健康に留意されては如何でしょうか。

(石橋 勝 記)

水田(耕)君体調不良の為当分の間石橋君が会計を担当していただく事になりました。

本年度の会費徴収方法等は、後日お知らせいたします。その節にはよろしく御協力を御願いたします。

(入江恒夫 記)

## 大16回 天章会

21世紀に向けて発進

「平成12年度天章会のお知らせ」

来年は兵庫県支部が受け持つことになりました。淡路島在住の方々(吉田統司君、天羽峻君、高津匡雄君)の協力によりまして、「花のある淡路」での開催です。明石海峡大橋、花と緑の国際博覧会「ジャパンフローラ2000」また、淡路島の素晴らしい芸術に親しむことが出来ます。また、本年春に3番目の本州四国連絡橋(しまなみ海道)も開通いたしました。西から東から淡路島洲本の落ち着いた観光旅館「ホテルニューアワジ」で1泊の総会・懇親会でお会いして、久しぶりにのんびりとゆっくりと酒を酌み交わしながら親交を深め、近況などを楽しく語り合いたいものです。地元の方々による楽しい企画満載です。お誘い合わせのうえ、ぜひともご参加賜りますようお願い申し上げます。

下記の要項で総会・懇親会を開催予定です。

日 時：平成12年9月2日(土)

～3日(日)

新幹線新神戸からホテルニューアワジまで送迎バスを準備予定です。(所要時間約1時間)

場 所：国立公園 淡路島 洲本温泉

「ホテル ニューアワジ」

〒656-0023 洲本市古茂江海岸

☎0799-23-2200 FAX 0799-23-1200

総 会：午後5時から

記念撮影：午後5時30分から

懇 親 会：午後6時から

平成12年9月3日(日)

ゴルフ組/洲本ゴルフ倶楽部

観 光 組/ホテル ニューアワジ→観光

(計画中)→新神戸

連絡先：田村忠昭

〒655-0005

神戸市垂水区潮見が丘2-1-28

☎078-707-0266

(田村忠昭 記)



## 大18回 とわ会

### とわ会兵庫支部総会とコンペ報告

4月22日(木曜日)

とわ会兵庫支部の総会、及び親睦ゴルフコンペを宝塚ゴルフクラブにて開催致しました。平日という事で出席者も少なく、11人とこじんまりとした楽しいゴルフコンペとなりました。当日は天候にも恵まれ和気藹々とした気楽なゴルフであったと思います。

いつもよく会っているものもいれば、本当に久しぶりに会うものもある。こんな同級生がゴルフを楽しみ、日頃のストレスを十分発散できたのではないのでしょうか。しかし当日支部長の和手君が急用の為不参加となり非常に残念でした。

成績の方はいつもながら実力者の梶君の素晴らしいゴルフが目立ち、北村君の楽しいゴルフ、益井君の一途なゴルフetc…

同組だった小林(久)君、上村君と私の3人には偶然にも共通点がありました。小学生の息子がおり、子育て真っ最中という点です。四方田君には懐かしい思いがあったのではないのでしょうか。私事ですがゴルフを始めて約30年、練習場へ毎日のように通い、いろいろな人に教えを授かり、有名プロの本を読破し、ゴルフ友達に対抗意識を燃やし、もっと上達してやろうと意気込んだのも遠い昔のような気がします。自分の実力の限界も判り、今は健康維持と親睦の為のゴルフをしているのが現状で、ゴルフに関して大多数の人が辿った経路を私も通っているようです。しかしゴルフは私にとって最高の趣味でもあります。

ゴルフ終了後、18時より芦屋のホテル竹園にて総会を開催しました。西川君、深澤君、藤田君も出席し中西君の司会で議事進行、土居君の本部報告、支部長選出で和手君が再選されました。とわ会本会より北村、矢追両君に出席して頂きました。和気藹々とした会食の後、総会も無事終了し、次回は来年の春に再会を約束して開会しました。

(大塚正紀 記)

### 〈ゴルフの成績表〉

	OUT	IN	グロス(G)	ハンデ(H)	ネット(N)
1. 北村 詔四	38	42	80	13	67
2. 大塚 正紀	47	43	90	21	69
3. 益井 重文	54	53	100	36	71
4. 矢追 秀純	48	48	96	14	72
5. 中西 洋介	43	43	86	10	76
6. 梶 宏昭	43	37	80	3	77
7. 麻生 泰光	42	43	85	8	77
8. 小林 久夫	51	43	94	16	78
9. 土居 勲	47	53	100	20	80
10. 四方田裕二	47	47	94	11	83
11. 上村 恭弘	57	52	109	26	83

※とわ会兵庫支部の皆さんへ

過日開催されました支部総会にて支部長として再選されました。本部等の連絡及び世話役として頑張りたいと思います。尚、会計担当に大塚君を指名してお願いしてあります。今後とも宜しくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

(和手甚京 記)



## 大19回 いく会

平成11年6月12日 大学19回兵庫支部同窓会を阪本義之君のお世話で、神戸第一楼で開催しました。当日は来賓として、大鹵同窓会中塚裕会長、和田透専務には御多忙の中御臨席を賜り有り難うございました。

又全国19回代表の西塔誠一君の代理として山田健蔵、山崎一郎両君が参加してくれました。

総会は岩本哲君と村上英夫君の司会進行で村上彰廣代表挨拶、庄司武会計より収支報告並びに藤田君の見舞報告。

その後はいつも通りの賑やかなアルコールのハイピッチな宴会、2次会は塩見聰、吉田哲男両君の紹介で、しらふでは行けないワイルドなユニークな店で益々酒の量を増やし、年齢と明日を忘れ3次会4次会へと突入。

皆様おつかれでした。

9月24日、全国19回代表の西塔誠一君がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

阪神大震災の前年、神戸での全国19回同窓会后、彼を代表に推薦、兵庫県の推薦なら受けると快諾、その後、あっさりした気性と卓越した実行力、聡明さで19回を盛り上げて頂きました。

今回の同窓会も兵庫県の会にはぜひ出席するとの返事、ところが3日前に「急に調子が悪くなったので欠席するが皆によろしく言って」が最後の言葉でした。

どうか安らかにお眠りください。

(村上彰廣 記)



## 大20回 二斗会

二斗会総会と福島久典君教授就任祝い

平成11年6月26日(土) ホテルニューオータニオオサカにて二斗会総会が開会された。席上次期会長に奥田昌義君の後任として西宮市の親里嘉之君が選出され来年の4月より運営を委されることとなった。兵庫県二斗会同窓会としても3年後の30周年行事の準備もあり皆様のご意見、ご協力をお願いしたい。

総会のあと会場を移して福島久典君による記念講演が行われ「細菌を知る、エンドが変わる」の編著でもありこのテーマで講演していただいた。同級生ということで学生時代に帰ったような気分で質疑応答にも始終リラックスしたなかでの講演であった。このあと母校の細菌学教授就任を祝う会が催され佐川学長をはじめ多くの来賓のご祝辞をいただき安東君の指揮による学歌斉唱までなごやかなうちに会は終了した。

20回卒としては口腔衛生学の神原正樹君について2人目の母校の教授誕生となり今後のご活躍を祈りたい。又、助教授には一昨年冬神戸三宮にて14名が集いお祝いした補綴Ⅲの前田照太君、昨年には矯正の神原敏之君がひかえており二斗会にとっても心強い限りです。

なお今年8月7日に大鹵兵庫同窓会が開催され20回卒は例年と同じようなメンバー10数名が顔をそろえたがクラスごとにテーブルを配置していただいているので来年はもっと多くの参加をお願いいたします。

(勝山篤信 記)

大25回 ふたご会

## 全国総会と懇親会のご案内

日 時：平成12年2月19日（土）

場 所：木曾路 三宮店 神戸市中央区雲井4-2-2 TEL 0120-338061

総 会：午後6時から

懇親会：午後6時30分から

連絡先：能登原 徹 〒663-8137 西宮市池開町3-10 TEL 0798-46-2112

※詳細については後日ご案内予定

（能登原徹 記）

## 大26回 早蕨会

祝 竹村明道君 助教授就任

松井正剛君 県議会議長就任

1999年もあと僅かとなりました。ノストラダムスから無事解放されたかと思えば、次は2000年問題に突入するカウントダウンが始まりました。いったい何時になれば平穏無事な生活ができるのでしょうか。私たち早蕨会も経験は豊かになりましたが、目が衰え動きが鈍くなると、ぼやく年代になりました。そのなかで、竹村明道君と松井正剛君のニュースは私たちに活力と希望を与えてくれました。

大阪歯科大学解剖学講座助教授に就任された竹村明道君は私たち早蕨会の会長として、21年間にわたり、常に母校との橋渡しをして頂いております。今後更に大学との関係が、強化されたことを大変嬉しく思います。これからも更に頂点を目指してご活躍されることを期待し、応援を致したいと思っております。

奈良県議会議員で活躍中の松井正剛君は、県議会の議長に選出され就任されました。彼の夢に一步近づいたことを大変嬉しく思います。

同窓会の声が彼を通じて国会に届く、21世紀に大きな希望が湧いてきました。奈良県には、昨年亡くなられましたが、奈良県の公安委員長を務められた有山金吾先生がおられました。立派な先輩の跡を継いで、頑張ってほしいと思っております。

ロウソクの灯りのなかで生活する歯科界に、是非とも太陽を点して欲しいものです。

ふたりの栄えを期にして私たち開業医も、もうひと頑張りいたしましょう。

《お詫びと総会のご案内》

今年の秋に予定しておりました兵庫早蕨会の総会ですが、今年は県歯科医師会の行事が多く日程の都合が付かないため、来年に開催致します。連絡が遅れたこと、今年開催出来なかったことを深くお詫び致します。

現在大阪歯科大学で活躍中の早蕨会会員を紹介しておきます。

内橋 賢二	生理学助手
奥 忠之	衛生学非常勤講師
竹村 明道	解剖学助教授
田中 昌博	補綴2助教授
仁木 寛	口外2助手
野口 吉廣	歯周病助手
吉田 匡宏	口治療助手

（志築秀和 記）



松井正剛先生奈良県議会議長就任祝賀会

## 大27回 飛翔会

### 卒業20周年記念クラス会開催

平成11年5月15日土曜日、リーガロイヤルホテルにて、大学27回飛翔会卒業20周年記念クラス会が開催されました。

同窓会長 奥野喜一先生(代 田治米保夫先生)、副学長 権田悦通先生、名誉教授 山岡昭先生を始めとして多数の来賓にご臨席を賜り、120余名の同窓生の出席を得、盛大な記念クラス会を催すことができました。久しぶりに見る同窓生の顔、恩師の顔。それぞれの歳月を感じながらも、再会の喜びに時を忘れて語り合いました。

昭和54年に卒業し、各人の飛翔を誓い合った我々大学27回生も、ここに歯科医師としての成人式を迎えることができました。この節目の時に、20年の歯科医師としての足跡を見つめなおすことが、これからのさらなる飛翔の糧になることと確信しております。

また一人一人を見てみると、すでに社会人として、歯科医師としてそれぞれの組織の中で活躍している者もあり、また家庭人としては充実した生活を得ているようです。これら20年の実績を今後さらに積み重ねていくことで同窓会先輩諸兄に少しでも近づくとことができ、10年後、20年後のクラス会でも今回と同様に慶びにあふれた集まりを持つことが出来るものと信じております。

一年一年の積み重ねで卒業20周年を迎えることができました。本年度は兵庫県飛翔会の集まりは持ちませんでした。次年度からは従来どおりに集まりたいと思います。一人でも多くの参加をお待ちしております。

(藤澤昌績 記)

## 大28回 庚申会

庚申会の皆様、お元気ですか？

気が付けば20年、人生もいろいろな意味で節に当たっております。

大学在学中に大阪の曾根崎で兵庫県人会をしたのが始まりで、宝塚のホテルに泊まったり、森良太先生をお招きして、講演をしてもらったり、三木のグリーンピアに泊まったり、県立フラワーセンターに行ったりしたいろいろな事を思い出します。

フラワーセンターに行った時には、中国自動車道を通って、土佐君は二輪車に乗って付いて来てくれた事を思い出します。

早々と堀内君が、連絡網を作って下さって、卒業して、あまり時間が経たない内に庚申会兵庫支部ができたのでした。

あつという間の20年何をしてきたのかと思いましたが、最近の5年間、やはり震災の影響で集まる機会がありませんでした。昨年同窓会報に明石海峡に大橋ができたので一度集まる機会を持つことを提案しておりましたが、1999年2月初旬に私事ですが、交通事故に遭遇し、7ヵ月に渡り療養しておりましたので、計画を実行に移せませんでした。本当に申し訳ありませんでした。

さて、2000年の4月22日に庚申会の20周年記念大会を開催する予定です。兵庫県もできうる限り協力していきたいと思っておりますので、皆様の万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い致します。

ここで一度顔を合わせて、20年目を思うのもよいではないですか？

近々、庚申会兵庫支部の集まりのお知らせが必ずあると思っておりますので、その節は何卒宜しくお願い申し上げます。

季節柄、くれぐれもご自愛下さいますようにお祈り申し上げます。(もう20代や30代ではないので、無理をしないで健康に留意しながら、突然の事故や病気にあわないように注意しましょう。)

(永谷 敏 記)

## 大29回 仁玖会



仁玖会の皆様、お元気ですか？

月日の経つのは早いもので、我々も歯科医になって18年が過ぎようとしています。この間、結婚、開業、或いは子供が出来て親になられたりと、人生において大きな転機をむかえられた方も多いのではないでしょうか。そんな中、皆さんにとって同窓会とはどういう位置にありますか？ 一般に、有る一時期それも青春の一時期を共有する者として、記憶の中で解りあえます。その上、我々は現在も同じ職業という共通項を持っています。現在の苦労や相談も出来る仲だということは、何より心強いものではないでしょうか。

さて先日来、栗原君より連絡がありました仁玖会総会・懇親会が、10月30日、石川県小松市粟津温泉「露天のゆ金閣」に於いて行われました。又、当日午前より、安井君のお世話にて「片山津カントリークラブ」での懇親ゴルフも行われました。石川県というと、兵庫県からは

かなり遠いイメージがあります。実際、兵庫県からの出席者は、僕を含めて2人という淋しい参加でしたが、総勢は42人と盛会でした。


総会において決定されました議事を報告します。

1. 2001年仁玖会20周年は、大阪に於いて行われます。
2. 実行委員長は中谷二郎先生に決定。
3. 仁玖会の連絡を、将来Fネットを使って行う。

以上です。

総会終了後、写真撮影が行われ、宴会が始まりました。浴衣を着て、和気あいあいの雰囲気の中、皆は目の前のごちそうに目もくれず、酒々々で大いに盛り上がりました。宴会の後、マージャン組と二次会組に分かれ、金沢の夜を満喫し、親交を暖めました。

(赤井高之 記)



平成11年12月1日

発行所 **大阪歯科大学兵庫県同窓会**

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話 (078) 351-4181

編集発行人 和田 透

